

学位論文

博士論文

2004年5月 現代の青年の対人認知と自己概念の関係に関する考察:とくに友人認知との関連において 博士(心理学), 学習院大学

修士論文

1985年3月 青年期の自我理想とその形成過程 立教大学大学院博士前期課程

---

学術論文

(単著および筆頭共著)

2025. 4 単著 時間的連続性とその意義—鈴木絵理奈・河野荘子論文への意見論文— 青年心理学研究, 36(2), 133-136. (査読付)

2024. 12 単著 一般青年における「ふれ合い恐怖的心性」の構造に関する検討 思春期青年期精神医学, 34(2) 187-200. (査読付) <https://doi.org/10.24517/0002002205>

2022. 3 単著 青年期以降の発達心理学研究の動向と展望—現状と課題— 教育心理学年報, 61, 16-28. (査読付) <https://doi.org/10.5926/arepj.61.16>

2021. 12 共著(岡田努・榎本博明・下村英雄・山浦一保) 青年の自己開示対象の多元性と認知された自己開示, 適応, 友人関係の関連 心理学の諸領域, 10, 3-12. (査読付)  
[https://doi.org/10.60186/hpsj.10.1\\_2](https://doi.org/10.60186/hpsj.10.1_2)

2021. 3 単著 鉄道オタク青年の対人行動と自己に関する探索的検討 金沢大学人間科学系研究紀要 vol. 13, 27-44 <https://doi.org/10.24517/00061717> (電子版で発行)

2016. 12 単著 青年期の友人関係における現代性とは何か 発達心理学研究, 27(4), 346-356. 日本発達心理学会 (査読付) <https://doi.org/10.11201/jjdp.27.346>

2016. 11 共著(岡田努・榎本博明・下村英雄・山浦一保) 青年期の対人関係および自己のあり方と青年の就労意識の関連に関する構造の検討 心理学の諸領域, 5, 41-52. (査読付) [https://doi.org/10.60186/hpsj.5.1\\_41](https://doi.org/10.60186/hpsj.5.1_41)

2014年2月 単著 青年期の友人関係における「共有」の意味について—池田

幸恭・葉山大地・高坂安雄・佐藤有耕 『大学生の友人関係における親密さと共有意識の関係』への意見論文— 青年心理学研究 25, 155-158. 日本青年心理学会 (査読付) [https://doi.org/10.20688/jsyap.25.2\\_157](https://doi.org/10.20688/jsyap.25.2_157)

2012年3月 単著 現代青年の友人関係に関する新たな尺度の作成：傷つけ合うことを回避する傾向を中心として 金沢大学人間科学系研究紀要 第04号 19-34. (電子版で発行) <http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/30410>

2011年9月 単著 現代青年の友人関係と自尊感情の関連について パーソナリティ研究, 第20巻(1), 11-20. (査読付) <https://doi.org/10.2132/personality.20.11>

2007年3月 単著 現代青年の友人関係と自己像・親友像についての発達的研究 金沢大学文学部論集 (行動科学・哲学篇), 第27号, 17-34.

2007年2月 単著 白石尚大・岡本祐子 論文「大学生の意欲低下傾向とアイデンティティ発達, 家族機能の関連性」についての意見論文 青年心理学研究, 第18巻, 63-66. (査読付) [https://doi.org/10.20688/jsyap.18.0\\_63](https://doi.org/10.20688/jsyap.18.0_63)

2007年1月 単著 大学生における友人関係の種類と, 適応及び自己の諸側面の発達の関連について パーソナリティ研究, 第15巻(2), 135-148. (査読付) <https://doi.org/10.2132/personality.15.135>

2005年3月 単著 自己の発達と共感性の関係についての探索的研究 自己心理学 第2巻, 14-25. 自己心理学研究会

2005年3月 単著 現代青年の友人関係・ライフイベントと自己の発達に関する研究 金沢大学文学部論集 (行動科学・哲学篇), 第25号, 15-32. <http://hdl.handle.net/2297/3206>

2002年3月 単著 現代大学生の「ふれ合い恐怖的心性」と友人関係の関連についての考察 性格心理学研究, 第10巻(2), 69-84. (査読付) [https://doi.org/10.2132/jjpsjpp.10.2\\_69](https://doi.org/10.2132/jjpsjpp.10.2_69)

2002年3月 単著 青年期・成人期・老年期の発達研究の動向について 教育心理学年報, 第41巻, 63-72. 日本教育心理学会 [https://doi.org/10.5926/arepj1962.41.0\\_63](https://doi.org/10.5926/arepj1962.41.0_63)

2002年3月 単著 友人関係の現代的特徴と適応感及び自己像・友人像の関連についての発達的研究 金沢大学文学部論集 (行動科学・哲学篇), 第22号, 1-38. 金沢大学文学部

2000年3月 単著 現代青年の自己概念の発達に関する試論 立教大学教職

研究, 第10号, 31-40. 立教大学教職課程研究室

1999年12月 単著 現代大学生の認知された友人関係と自己意識の関連について 教育心理学研究, 第47巻(4), 432-439. 日本教育心理学会 (査読付) [https://doi.org/10.5926/jjep1953.47.4\\_432](https://doi.org/10.5926/jjep1953.47.4_432)

1999年4月 単著 石津論文(石津孝治「箱庭を併用した遊戯療法における攻撃性の変容」)へのコメント 立教大学臨床心理研究 第2号, 39-40. 立教大学心理教育相談所

1999年3月 単著 現代青年に特有な友人関係の取り方と自己愛傾向の関連について 立教大学教職研究, 第9号, 29-39. 立教大学教職課程研究室

1997年3月 単著 平石・杉村論文「中学生の役割緊張に関する研究-コンピテンスおよびストレス反応との関係から-」に対する意見論文 青年心理学研究, 第9号, 66-68. (査読付) [https://doi.org/10.20688/jsyap.9.0\\_66](https://doi.org/10.20688/jsyap.9.0_66)

1996年11月 単著 トピックス「インターネットについて」心理臨床第9巻(3), 201-203 星和書店

1995年12月 単著 現代大学生の友人関係と自己像・友人像に関する考察 教育心理学研究, 第43巻(4), 354-363. 日本教育心理学会 (査読付) [https://doi.org/10.5926/jjep1953.43.4\\_354](https://doi.org/10.5926/jjep1953.43.4_354)

1995年3月 単著 自我同一性早期完了地位についての一考察(2) 新潟大学教育学部紀要, 第36巻(2), 219-228 新潟大学教育学部

1993年11月 単著 現代の大学生における「内省および友人関係のあり方」と「対人恐怖的心性」との関係 発達心理学研究, 第4巻(2), 162-170. 日本発達心理学会 (査読付) <https://doi.org/10.11201/jjdp.4.162>

1993年11月 単著 自我同一性早期完了地位についての一考察 新潟大学教育学部紀要, 第35巻(1), 57-68. 新潟大学教育学部

1993年10月 単著 現代青年の友人関係に関する考察 青年心理学研究, 第5号, 43-55. 日本青年心理学会 [https://doi.org/10.20688/jsyap.5.0\\_43](https://doi.org/10.20688/jsyap.5.0_43)

1992年6月 単著 コンピュータにおけるコミュニケーション 心理臨床, 第5巻(2), 95-99. 星和書店

1991年10月 (共著:岡田努・永井徹) 文章完成法による青年期心性についての考察 新潟大学教育学部紀要, 第33巻(1), 33-40. 新潟大学教育学部

1991年3月 単著 現代青年の人格発達と対人関係に関する探索的研究 東京都立大学心理学研究, 第1巻, 11-18. 東京都立大学心理学研究室

1990年2月 (共著:岡田努・永井徹) 青年期の自己評価と対人恐怖的心性との関連 心理学研究, 第60巻(6), 386-389. 日本心理学会 (査読付) <https://doi.org/10.4992/jjpsy.60.386>

1989年6月 単著 学生相談からみた現代青年の特徴 第2報 文教大学保健センター年報, 第9号, 18-21. 文教大学保健センター

1988年6月 単著 学生相談からみた現代青年の特徴 文教大学保健センター年報, 第8号, 24-26. 文教大学保健センター

1987年6月 (共著:岡田努・斎藤憲司) エンカウンターグループに関する一考察文教大学保健センター年報, 第7号, 20-26. 文教大学保健センター

1987年6月 単著 青年期男子の自我理想とその形成過程 教育心理学研究, 第35巻(2), 116-121. 日本教育心理学会 (査読付) [https://doi.org/10.5926/jjep1953.35.2\\_116](https://doi.org/10.5926/jjep1953.35.2_116)

1984年3月 単著 青年期の自己概念—依存対象との関連において— 立教大学心理学科研究年報, 第27号, 51-62. 立教大学文学部心理学研究室

---

#### 筆頭以外

2016.6 共著 Akira Kanai, Sachiko Kiyama, Hiroshi Goto, Hidehito Tomita, Ayuko Tanaka, Mitsunobu Kunimi, Tsutomu Okada and Toshiharu Nakai) Use of the sit-to-stand task to evaluate motor function of older adults using telemetry. BMC Geriatrics, 16. (統計処理担当) (査読付)

2008.6 共著: 中野光子・今井壽正・岡田努 Parkinson病の認知機能障害: Wisconsin Card Sorting TestとWAISによる成績の比較検討 神経心理学 第24巻2号, 161-168. 日本神経心理学会 (統計処理担当) (査読付)

2008.3 共著: 三保紀裕・岡田努・轟亮 金沢大学文学部学生における大学進学動機と進路意識 人間社会環境研究 第15巻, 19-29. 金沢大学大学院人間社会環境研究科 (統計処理担当)

1991.10 共著: 詫摩武俊・天羽幸子・佐藤達哉・岡田努・平野直巳 青年期の双生児の人間関係に関する研究(第1報) 安田生命社会事業団研究助成論文集, 第26号, 49-58. 安田生命社会事業団 (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)

1989.11 共著: 詫摩武俊・菅原健介・戸田弘二・岡田努・関根剛 「好青年」についての発達心理学的研究(第2報) —優等生役割を持つ中学生の問題行動に対する態度について— 安田生命社会事業団研究助成論文集, 第24号,

69-72. 安田生命社会事業団（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）

1988.11共著：詫摩武俊・菅原健介・戸田弘二・岡田努・関根剛 「好青年」  
についての発達的研究(第1報) —優等生役割を持つ者の非行少年観について—  
— 安田生命社会事業団研究助成論文集, 第23号, 90-95. 安田生命社会事業  
団（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）

---

著書

（単著）

- ・2010年2月 青年期の友人関係と自己：現代青年の友人認知と自己の発達  
世界思想社 総ページ288ページ
- ・2007年10月 現代青年の心理学：若者の心の虚像と実像 世界思想社 総  
ページ202ページ

（共著・分担執筆）

2023年5月 サブカルチャーの心理学2:「趣味」と「遊び」の心理学研究（  
分担執筆 担当 第7章「データに見る鉄道オタクの実像」pp.150-168 山  
岡重行 編著, 杉浦義典, 田島綾乃, 稲増一憲, 渡邊芳之, 岡田努, 山田智  
之, 菊池聡, 西田公昭著） 福村出版 ISBN978-4-571-25063-7

2020年8月 サブカルチャーの心理学:カウンターカルチャーから「オタク」  
「オタ」まで（分担執筆 山岡重行 編著 菊池聡・岡田有司・家島明彦・岡  
田努・渡邊芳之・杉浦義著担当 第6章 鉄道オタク pp.127-145） 福村  
出版 ISBN9784571250569

2019年6月 子どもの発達と学校[第3版]I発達と学習の心理学 ナカニシヤ  
出版

（分担執筆 第5章 青年期前期 pp.67-81担当）宮川充司, 大野久, 谷口明  
子, 大野木裕明（編）, 宮川充司, 水野里恵, 林昭志, 塚本伸一, 岡田  
努, 大野久, 大野木裕明, 遠山孝司, 崎濱秀行, 太田伸幸, 大野木裕明(著  
)

2018年3月 ノードとしての青年期（分担執筆 担当 F1青年期における  
友人関係の特徴 pp.92-93 F2青年期を通じた友人関係の変化 pp.94-95 高  
坂康雅 編著, 浅野良輔, 天野陽一, 池田幸恭, 石川茜恵, 石本雄真, 伊藤  
美奈子, 岡田努, 木戸彩恵, 郡司菜津美, 高坂康雅, 信太寿理, 須藤春佳,  
高橋彩, 千島雄太, 寺島瞳, 中井大介, 畑野快, 原田新, 増淵裕子, 水本深  
喜, 山崎茜, 渡辺伸子著）ナカニシヤ出版

2017年3月 若者たちの食卓—自己, 家族, 格差, そして社会（分担執筆  
担当 第10章「青年期の対人関係」pp.146-156 外山紀子・長谷川智子・  
佐藤康一郎編 外山紀子・長谷川智子・佐藤康一郎・小塩真司・岡田努・橋  
本健二・小林盾・今田純雄著）ナカニシヤ出版

2015年3月 よくわかる青年心理学第2版 (分担執筆 担当 第Ⅴ章 5「青年期の友人関係の特徴」, 6「現代青年の友人関係は変わったか」, 7「自己開示」, 8「孤独感」 pp. 84-91) (白井利明(編) 白井敏明・小林亮・岡田努・谷冬彦・柏尾眞津子・平石賢二・河野莊子・山口昌澄・山野晃・若松養亮著) ミネルヴァ書房

2011年9月 自己愛の心理学——概念・測定・パーソナリティ・対人関係 (分担執筆 担当 第12章「自己愛と現代青年の友人関係」 pp. 184-200 小塩真司・川崎直樹 編著, 小塩真司・川崎直樹・上地雄一郎・中山留美子・清水健司・市村美帆・岡田涼・寺島瞳・阿部晋吾・岡田努 著) 金子書房

2010年11月 社会化の心理学／ハンドブック：人間形成への多様な接近 (分担執筆 担当 第12章「友人関係の変質」 pp. 167-182) (菊池章夫・二宮克美・堀毛一也・斎藤耕二(編著) 安藤寿康・五十嵐敦・岩立京子・氏家達夫・大江篤志・岡田努・岡本祐子・小川晃子・金政祐司・上瀬由美子・菊池章夫・河野義章・小林春美・斎藤耕二・作道信介・首藤敏元・鈴木敦子・鈴木佳苗・鈴木光太郎・高田利武・田中共子・西脇良・二宮克美・根ヶ山光一・久崎孝浩・飛田操・平林秀美・細江達郎・堀毛一也 著) 川島書店

2010年10月 朝倉実践心理学講座第8巻 対人関係と恋愛・友情の心理学 (分担執筆 担当 第7章「友人関係は希薄になったか」 pp. 90-104) (海部博之(監修) 松井豊(編) 相羽美幸・新井洋輔・岡田努・岡田昌毅・加藤司・金政祐司・久村恵子・島倉大輔・立脇洋介・丹野宏昭・橋本剛・堀越弘・松井豊・若尾良徳・渡部麻美 著) 朝倉書店

2010年6月 子どもの発達と学校[改訂版] ナカニシヤ出版 (分担執筆 第7章 青年期前期 pp. 89-103 担当) 宮川充司・大野久・大野木裕明(編) 宮川充司, 水野里恵, 中西由里, 林昭志, 塚本伸一, 小林真, 岡田努, 大野久, 前田基成, 大野木裕明, 遠山孝司, 太田伸幸, 塘利枝子, 崎濱秀行, 谷口明子(著)

2008年12月 自己心理学 5 パーソナリティ心理学へのアプローチ (分担執筆 担当 「パーソナリティ心理学における自己心理学の展開」 pp. 1-3, 「ふれ合い恐怖と青年期の友人関係」 pp. 112-129) (岡田努・榎本博明(編) 榎本博明・岡田努・下斗米淳(監修) 岡田努・谷冬彦・横井優子・川本恵津子・山口昌澄・榎本博明・並川努・安藤清志・小塩真司・塘利枝子・堀正・谷伊織・大西将史・丹野万樹・伊藤真弓・脇田貴文・唐沢春明・稲垣実果・小口直子・福井斉・前川浩子著) 金子書房

2008年10月 自己心理学 1 自己心理学の研究の歴史と方法 (分担執筆 担当 「自己心理学における量的研究と質的研究の現状」 pp. 49-53) (榎本博明・岡田努(編) 榎本博明・岡田努・下斗米淳(監修) 藤永保・榎本博明・サトウタツヤ・梶原佳子・岡田努・古澤照幸・杉森伸吉・野口裕之・大野

久・山口智子・浅野智彦・野村春夫著) 金子書房

2006年1月 よくわかる青年心理学 (分担執筆 担当 第Ⅴ章 5「青年期の友人関係の特徴」, 6「現代青年の友人関係は変わったか」, 7「自己開示」, 8「孤独感」 pp. 84-91) (白井利明(編) 白井敏明・岡田努・柏尾眞津子・河野莊子・小林亮・谷冬彦・平石賢二・山口昌澄・山野晃・若松養亮著) ミネルヴァ書房

2005年1月 現代心理学への招待 (分担執筆 第5章1「性格の理解」2「性格の測定」pp. 116-129, 第6章3「青年期の発達」pp. 159-171 担当) (塚本伸一・堀耕治(編著) 塚本伸一・堀耕二・岡田努・小松英海・菅沼真樹・東福寺一郎・土肥伊都子・友田貴子・吉野俊彦著) 樹村房

2004年9月 さまよえる青少年の心—アイデンティティの病理— (分担執筆 担当 第2章5節「親密性の病理」pp. 60-67) (谷冬彦・宮下一博(編著) 谷冬彦・西平直・佐方哲彦・宮下一博・相澤直樹・溝上慎一・岡田努・森岡正芳・佐藤枝里・石垣琢磨・永井徹・近藤隆夫・鉄島清毅・井上果子・北山修・小沢一仁・高田晃治・茂垣まどか・加藤弘通・溝口剛・佐藤浩一・渡辺亘・白井利明・高澤健司・下坂剛・三好昭子・宇都宮博・林恵・山田裕子・宮坂振也・山口昌澄・大野久著) 北大路書房

2004年3月 放送大学 教材新訂人格心理学 (分担執筆 担当 [5]「親子関係とパーソナリティの発達」pp. 72-85, [6]「友人関係とパーソナリティの発達」pp. 86-101) (榎本博明・桑原知子(編著), 若林明雄・岡田努・堀正・滝口俊子・丸田俊彦・榎本博明・桑原知子著) 放送大学教育振興会

2002年9月 認知心理学者 新しい学びを語る (分担執筆 担当 「<自分さがし>と<自分づくり>」pp. 124-133) (森敏昭(編著) 森敏昭・鹿毛雅治・奈須正裕・秋田喜代美・深谷優子・藤村宣之・上淵寿・青木多寿子・小松孝至・戸田まり・岡田努・伊東美奈子・酒井千春・藤江康彦・伊東亜矢子・高木光太郎・吉岡敦子・深田昭三・向後千春・坂元章 著) 北大路書房

2002年8月 シリーズ「臨床発達心理学」第3巻 社会・情動発達とその支援 (分担執筆 担当 7章2節 「同一性の危機と関係の病理」pp. 148-152) (須田治・別府哲(編著) 須田治・陳省仁・遠藤利彦・上村佳世子・莊巖舜哉・麻生武・川上清文・鯨岡峻・河合優年・繁多進・山本登志哉・中野茂・黛雅子・別府哲・大野久・岡田努・佐竹真次・松村京子・高橋和子・近藤文里・近藤清美・西澤哲・戸田有一 著) ミネルヴァ書房

2001年4月 図で読む心理学 (発達) (分担執筆 担当 第12章「その人らしさの発達: 人格と自我の発達」pp. 142-149) (川島一夫(編著) 川島一夫, 毛塚恵美子, 橘川真彦, 首藤敏元, 前田明, 中野隆司, 真島真里, 中山勘次郎, 簗毛良助, 鈴木情一, 渡辺弥生, 岡田努, 伊藤裕子, 高尾正, 小宮光弥 著) 福村出版

2000年6月 子どもの発達と学校 (分担執筆 第7章「青年期前期」pp. 77-90 担当) (宮川充司・大野久・大野木裕明(編) 水野里恵・中西由里・林昭志・塚本伸一・小林 真・岡田努・前田基成・遠山孝司・太田伸幸・塘利枝子・崎浜秀行・小田侯朗 (著) ナカニシヤ出版

1997年10月 発達を考えた児童理解・生徒指導 (分担執筆 担当 第9章「いじめへの児童理解・生徒指導からの理論」pp. 153-176 ) (川島一夫(編著) 丹羽洋子・本間恵美子・勝倉孝治・松田君彦・瀧野揚三・神村栄一・小林 真・岡田 努・塚野州一 著) 福村出版

1997年5月 人間関係学トピックス100 (分担執筆 担当 第6章「人間関係の発達と病理」pp. 154-181) (斎藤勇(編) 片山美由紀・笹山郁生・上野行良・古澤照幸・青木智子・岡田努・川野健治・斎藤勇著) 誠信書房

1994年5月 こころの科学(分担執筆 担当 「IV適応の科学」pp. 173-204) (塚本伸一(編著) 川瀬隆千・塚本尚子・山岡重行・池田善英・神田信彦・岡田努著) ソフィア

1992年5月 出会いと関係の心理学 (分担執筆 担当 「甘え」pp. 39-43) (詫摩武俊(編) 渋谷昌三・永井徹・次郎丸睦子・佐藤達哉・榎本博明・戸田弘二・尾見康博・岡田努・古川真弓・須田治・菅原ますみ・戸田まり・岩立志津夫・平野直巳・小野寺敦子・丁謙・田中千穂子・青木紀久代・菅原健介・池森るみ子・清水弘司・飯野晴美・小出れい子・細井啓子・田中信市・内藤美加・関根剛・中村真・山本真理子・鈴木圭子・川村素子・井上果子・小沢理恵子・塩崎万里・佐山堇子・古川裕子・河野通子・加藤美智子・川幡政道・宗像剛・宮前理・今井一枝・神村富美子・林洋一著) 新曜社

1992年3月 対人心理学の最前線 (分担執筆 担当 第2章「友人とかかわる」pp. 22-26) (松井豊 編・飛田操・岡田努・下斗米淳・戸田弘二・榎本博明・菅原健介・堀正・篠山郁生・上瀬由美子・山内隆久・西田公昭・竹村和久・藤森立男・藤森和美・今井芳昭・上野行良・古澤照幸・戸田まり・井上果子・関根剛 著) サイエンス社

1989年12月 組織活性化のための測定診断(第3章内 「CPI」pp. 71-73, 「MMP I」pp. 91-94, 「P-Fスタディ」pp. 158-160, 「MAS」pp. 168-171担当) (東清和監修・著 井口哲夫・大草正信・外島裕・松本純・山崎友文・吉田敦・渡辺三枝子・岡田努・金森敦 著) 中央法規出版

---

## 辞典・事典

2021年2月 有斐閣現代心理学辞典 子安増生・丹野義彦・箱田裕司(監修) (p. 196「結婚」, p. 286「時間的展望」, p. 296「自己概念」, p. 435「成人形成期」, p. 538「通過儀礼」, p. 732「未来展望」, p. 762「友情」, p. 763「友人関係」, p. 775「ライフスタイル」, p. 784「リッカート法」担当) 有斐閣

ISBN978-4-641-00266-1

2014年1月 新・青年心理学ハンドブック（第24章「友人関係」 pp. 315-325 担当）日本青年心理学会（編）福村出版.

2013年12月 最新 心理学事典 平凡社(藤永保（監修）, p. 75「家庭環境」 pp. 567-568「仲間関係」担当)

2013年6月 発達心理学事典（「対人関係の希薄化」 pp. 254-255担当）日本発達心理学会(編) 編集委員長 氏家達夫, 岩立志津夫・尾見康博・子安増生・佐藤有耕・杉村和美・外山紀子・長崎勤・根ヶ山光一・能智正博・南徹弘・村井潤一郎（編）丸善出版

2013年3月 パーソナリティ心理学ハンドブック（第5節「友人関係の個人差」 pp. 567-572 担当）日本パーソナリティ心理学会(企画)二宮克美・浮谷秀一・堀毛一也・安藤寿康・藤田主一・小塩真司・渡邊芳之(編) 福村出版.

2011年11月 発達科学ハンドブック 第2巻 研究法と尺度（第3章「質問紙調査法の基礎」 pp. 40-47担当）日本発達心理学会(編) 岩立志津夫・西野泰広(第2巻 編) 新曜社

2009年6月 社会心理学事典（「親密な対人関係」 pp. 186-187担当）日本社会心理学会 編 編集委員長 大坊郁夫 丸善

2006年6月 心理学総合事典（3.2 調査法 pp. 36-42 担当）編集主査 海保博之, 編集副査 楠見孝 編集委員 佐藤達哉 岡市広成 大平英樹 大淵憲一 小川俊樹 朝倉書店

2000年11月 青年心理学事典（「対人恐怖的心性」 p. 179, 「ギャング集団」 p. 257, 「群れ志向」 p. 278, 「やさしさ志向」 p. 285担当）久世敏雄・斉藤耕二監修 福村出版

---

## 翻訳

2014年3月 子安増生・二宮克美（監訳）青年期発達百科事典編集委員会(編) 青年期発達百科事典（第2巻 人間・社会・文化「仲間関係」担当 pp. 327-333）丸善出版

(Dijkstra, J. K., & Veenstra, R. (2011). Peer relations. In Encyclopedia of Adolescence Volume 2 London : Elsevier pp. 255-259.)

2005年1月 J. クロガー著 榎本博明（編訳）榎本博明・田中道弘・岡田努・松田信樹・榎本恵理・横井優子・小林亮（訳）アイデンティティの発達 青年期から成人期（第5章 青年期におけるアイデンティティ問題の特異な例 pp. 95-112 Selected identity issues of adolescence 担当）榎本博明編訳 北大路書房 (Kroger, J. 2000 Identity Development: Adolescence)

監修・編集

- 榎本博明・岡田努・下斗米淳（監修）自己心理学（全6巻） 金子書房  
2009年1月 第3巻 塩崎万里・岡田努（編）「健康心理学・臨床心理学への  
アプローチ」 2008年12月 第5巻 岡田努・榎本博明（編）「パーソナリテ  
ィ心理学へのアプローチ」  
2008年10月 第1巻 榎本博明・岡田努（編）「自己心理学の研究の歴史と  
方法」  
2008年9月 第2巻 榎本博明（編）「生涯発達心理学へのアプローチ」  
2008年7月 第4巻 仲真紀子（編）「認知心理学へのアプローチ」  
2008年2月 第6巻 下斗米淳（編）「社会心理学へのアプローチ」
- 

報告書等

- 2007年3月 個別の対人関係場面での葛藤解決の実際 青少年に対する意識調  
査の結果を通して グローバル化時代における市民性の教育 論文集（1）  
123-133 日本学術振興会 人文・社会科学振興プロジェクト研究  
2005年 3月 平成13年度～平成16年度 科学研究費補助金 基盤（C）（2） 一  
般 研究成果報告書 青年期危機が人格的発達に及ぼす効果に関する研究（課  
題番号 13610123）  
2000年12月 青少年の逸脱行動と欲求不満耐性、価値観との関連について 総  
務庁青少年対策本部 「低年齢少年の価値観等に関する調査」232-247  
1995年3月 子供の燃えつき状態について 子供の遊びに関する実態調査報  
告書 44-45 （新潟市教育委員会）
- 

一般向け啓発誌等

- 2022 トピック 鉄道オタクの心理学 心理学の諸領域, 11, 59-62  
[https://doi.org/10.60186/hpsj.11.1\\_59](https://doi.org/10.60186/hpsj.11.1_59)  
2020.10 鉄道オタクの心理学 運輸と経済, 80(10) 42-47 交通経済研究所.  
2017年11月 書評 山岸明子著「つらさをのりこえて生きる一伝記・文学作  
品から人生を読む」p. 127 児童心理71(16) 金子書房  
2017年11月 君の悩みに答えよう：青年心理学者と考える10代・20代のため  
の生きるヒント（分担執筆 担当 「ノリがよくてウケることが言えなきゃ  
ダメですか？」pp. 78-79, 「昔や今より友人関係が濃密だったのですか？」p  
p. 82-83）大野久・小塩真司・佐藤有耕・白井利明・平石賢二・溝上慎一・三  
好昭子・若松養亮（編） 福村出版  
2015年5月20日 単著 現代青年のトモダチ事情 大学時報64, 34-37 日本  
私立大学連盟.  
2014年8月 単著 ”自分”のとらえかた（自己概念）とレジリエンス 児  
童心理 第68巻(11), 917-922 金子書房.  
2014年1月 単著 現代の青年の特質を高校生に授業する 心理学ワールド,

64号, 30-31 日本心理学会.

2011年1月 現代のエスプリ522 自己愛の時代：現代社会の病理の解明に向けて（分担執筆 担当「現代青年は自己愛的なのか？—友だちづきあいの特徴から見えてくるもの」pp. 29-40）（山崎久美子（編）） ぎょうせい

1998年5月 現代のエスプリ370:特集インターネット社会（分担執筆 担当「はまる—インターネット中毒」pp. 167-176）（川浦康至（編） 吉田敦也・向後千春・宮澤賀津雄・黒岩雅彦・森田正隆・干川剛史・三上俊治・野島久雄・岡本能里子・柴内康文・北山聡・川浦康至・岡田努・豊島昇・小坂守孝 著）至文堂

1997年3月 座談会 インターネットが意識を変える （黒木賢一・吉村公雄・山内慶太・岡田努）こころの臨床a・la・carte 16(1), 5-13 星和書店)

1995年10月 単著 若者の対人恐怖症 青少年研究 第42巻10号 12-17 青少年問題研究会

---

### 学会発表

2024. 10. 5 ランチメイト症候群尺度社会人版の作成 日本パーソナリティ心理学会第33回大会 ポスター発表 P1-12 発表論文集 p. 89

2024. 9. 6 青年の友人関係とアタッチメント・スタイルの関係について 日本心理学会第88回大会ポスター発表 1D-003-PB

2022. 9. 9 他者の視線への懸念とCOVID-19対処行動の関連についての日米比較の試み 日本心理学会大会第86回大会ポスター発表 2AM-006PB

2021. 9. 15-17 Personality traits associated with pathological features among contemporary Japanese Adolescents. The British Psychological Society, Developmental Psychology Section Annual Conference, poster No. 14

2020. 12. 5 「アイデンティティのための恋愛」は本当にアイデンティティと関わるのか？（共著：岡田努・西村郁美）北陸心理学会第55回大会発表論文集, 47.

2020. 11. 7-8(オンライン開催) 鉄道オタク青年の特性についての試論：自尊感情および対人関係との関連 日本社会心理学会第61回大会 発表論文集, 15.

2019. 9. 14 青年期の友人関係尺度の教示による相違についての試論 日本教育心理学会第61回総会発表論文集, 254

2019. 8. 30 Narcissistic personality and personality traits among Japanese adolescents. 19th European conference on developmental psychology (Athens, Greece). PP099. 2018. 9. 26 現代青年の心理的脆弱性の構造に関する検討：ふれ合い恐怖的心性およびランチメイト症候群傾向を中心にして 日本心理学会第82回大会

2018. 8. 27 大学生青年と非学生青年における友人関係の比較—現代青年の友人関係尺度による比較—日本パーソナリティ心理学会第27回大会発表論文集, p72.

2018. 6. 30 Features of present-day Friendship: comparison between Japanese and United States adolescents and young adults. 2nd Regional meeting of International society for adolescent psychiatry and psycho

logy. PB-06. (Osaka, Japan)

2017. 10. 7 ふれ合い恐怖的心性と自己愛の関連についての試論 日本教育心理学会第59回総会PA56, 159

2017. 9. 21 現代青年の友人関係尺度英語版作成の試み 日本心理学会第81回大会発表論文集, 39.

2017. 9. 8 現代青年の友人関係尺度英語版作成の試み(2) —成人年代との比較— 日本パーソナリティ心理学会 第26回大会発表論文集, 70.

2017. 9. 1 Friendship among present-day Japanese adolescents, 18th European conference on developmental psychology (Utrecht, Netherlands). p. 302. 40

2016. 9. 18 「ふれ合い恐怖的心性」の対人関係について(3) 高校生調査から 日本社会心理学会第57回大会発表論文集, 236.

2016. 7. 27 Is “Emerging Adulthood” available in Japan? The 31st international congress of psychology (Yokohama, Japan). PS27P-06-315.

2015. 9. 23 青年が自分を大人である・ないと考える理由 日本心理学会第79回大会発表論文集, 44.

2014. 7. 27 「ふれ合い恐怖的心性」の対人関係について(2) : インターネット調査との比較 日本社会心理学会第55回大会発表論文集, 320

2013. 11. 2 「ふれあい恐怖的心性」の対人関係について : インターネット調査による試み 日本社会心理学会第54回大会発表論文集, 303

2012. 11. 25 青年期の「ふれ合い恐怖的心性」と「傷つけ合うことを回避する」傾向の関連について 日本教育心理学会第54回総会発表論文集, 606. PF-016

2012. 11. 18 現代青年の友人関係のあり方と「ランチメイト症候群」傾向の関連 日本社会心理学会第53回大会発表論文集, 253.

2011. 7. 24 現代青年の友人関係とふれ合い恐怖的心性 再考 日本教育心理学会第53回総会発表論文集, 222. P2-53

2009. 9 現代青年の傷つけ合うことを回避する傾向についての研究 日本教育心理学会第51回総会発表論文集, 27.

2009. 8. 26 現代青年の友人関係と開示対象の使い分けについて 日本心理学会第73回大会発表論文集, 24.

2008. 11. 16 現代青年の友人関係に関する試論: 傷つけ合うことを避ける傾向について 日本パーソナリティ心理学会第17回大会発表論文集, 208-209. P5-14

2008. 9. 20 現代青年の友人関係パターンと自尊感情 日本心理学会第72回大会発表論文集, 40.

2006. 11. 4 小学校高学年から高校生にかけての友人関係と自己の発達 日本心理学会第70回大会発表論文集, 63.

2006. 3. 20 「青年は成人世代からどのように見られていると認知しているのか: 予備的考察」 日本発達心理学会第17回大会発表論文集, 302.

2005. 9. 17 青年期の自己の発達を規定する要因について 日本教育心理学会第47回総会論文集, 246.

2005. 9. 10 青年期の自己の発達に関わる要因について(2) : 大学生の短期縦断調査の結果から 日本心理学会第69回大会発表論文集, 34.

2004. 9. 12 青年期の自己の発達に関わる要因について 日本心理学会第68回

大会発表論文集, 33.

2003. 9. 15 青年期における自己の発達と内省傾向の関係についての試論 日本心理学会第67回大会発表論文集, 84.

2002. 10. 12 青年期における自己の諸側面に関する一考察: 共感性との関連において 日本教育心理学会第44回総会発表論文集, 150. PB55

2002. 9 現代青年の友人関係の構造についての検討 日本心理学会第66回大会発表論文集, 31.

2001. 11. 8 現代青年の自己像・親友像の関連について: 高校・大学生について 日本心理学会第65回大会発表論文集, 958.

2000. 11. 8 現代青年の友人関係と適応の関連について: 中学生期を中心として 日本心理学会第64回大会発表論文集, 61.

1999. 9. 6 現代青年の友人関係と人格障害傾向の関連 日本心理学会第63回大会発表論文集, 926.

1999. 3. 29 現代青年の自己概念の発達に関する試論 日本発達心理学会第10回大会発表論文集, 443.

1997. 11. 9 「青年性」の発達に関する試論 日本青年心理学会第5回大会発表論文集13-14.

1997. 9. 17 現代青年の友人関係と自己像に関する発達的研究 日本心理学会第61回大会発表論文集, 229.

1996. 11. 16 現代青年は本当に変わってしまったのか—友人関係を中心として— 日本青年心理学会第4回大会発表論文集, 49-50.

1996. 9. 11 現代大学生の友人関係と「ふれあい恐怖」的傾向の関連について 日本心理学会第60回大会発表論文集, 294.

1995. 9. 28 大学生における「ふれあい恐怖的心性」に関する予備的考察 日本教育心理学会第37回総会発表論文集, 450.

1994. 10. 3 現代青年の認知された友人像と友人関係 日本心理学会第58回大会発表論文集, 43.

1993. 10. 8 水槽表示を用いたベイズ定理の学習用および教材作成用プログラム (共著: 南風原朝和・岡田努 プログラム設計担当) 日本教育心理学会第35回総会発表論文集, 49

1993. 10. 8 青年期の自我同一性早期完了者の特徴について 日本教育心理学会第35回総会発表論文集, 206.

1993. 9 現代青年の自己意識と友人関係に関する考察 日本心理学会第57回大会発表論文集, 32.

1993. 6 “L-dopa無効の純粹アキネジア”の認知障害: パーキンソン病との比較 (共著: 中野光子・今井壽正・岡田努 統計処理担当) 第34回日本神経学会総会.

1992. 10. 1 女子青年の性役割意識と職業選択 日本教育心理学会第34回総会発表論文集, 132 (共著: 鶴巻里織・岡田努 研究指導, 分析担当)

1992. 9. 10 現代青年の友人関係に関する一考察 日本心理学会第56回大会発表論文集, 159.

1992. 5 パーキンソン病の認知障害 (共著: 中野光子・今井壽正・岡田努 統計処理担当) 第33回日本神経学会総会.

1991. 10. 29 現代青年における対人関係・内省と欲求不満耐性の関連について

- て 日本心理学会第55回大会発表論文集, 573.
1991. 9 Cognitive impairments in Parkinson's disease (共著:H. Imai, M. Nakano, Y. Mizuno, T. Okada 統計処理担当) 8th Asian & Oceanian Congress of Neurology.
1990. 6. 3 現代青年における自己及び対人関係に関する探索的研究(第2報) 日本心理学会第54回大会発表論文集, 145.
1989. 11. 28 青年期における対人恐怖的心性に関する研究(共著:永井徹・岡田努 統計処理担当) 日本心理学会第53回大会発表論文集, 19.
1989. 11. 28 現代青年における自己及び対人関係に関する探索的研究 日本心理学会第53回大会発表論文集, 23.
1988. 10. 9 女子青年における性別受容と対人恐怖的心性の関係について 日本心理学会第51回大会発表論文集, 120.
1987. 10. 12 対人恐怖的心性の構造に関する研究(共著:永井徹・岡田努 統計処理担当) 日本心理学会第52回大会発表論文集, 534.
1987. 10 中学生期女子における自己概念について 日本教育心理学会第29回総会発表論文集, 518-519.
1986. 10. 13 大学病院におけるデイケアの試み第5報—脱落した症例の検討— 共著:石井雄吉・岡田努 統計処理担当) 日本心理学会第50回大会発表論文集, 730
1984. 10. 13 思春期の自己概念—中学生期を中心として— 日本心理学会第48回大会発表論文集, 623.

---

#### 【学会等講演】

2024. 6. 30 伝記分析と病跡学のアプローチからみた思春期の親子関係の意義(パネリスト:大野久・館直彦, 司会:岡田努・平野直己) 日本思春期青年期精神医学会第36回大会 ワークショップ
2023. 11. 18 岡田努 連続と断続: 思春期・青年期精神医学との対話 企画者: 岡田努・平野直己, 話題提供者: 平野直己・補永栄子・佐藤有耕・岡田努 青年心理学と思春期青年期精神医学の対話—その交点を探る— 日本青年心理学会第31回大会自主シンポジウム
2023. 9. 9 岡田努 鉄道オタクと当事者性 企画・司会者 山岡重行, 話題提供者: 山岡重行・岡田努・渡邊芳之・田島綾乃 サブカルチャー心理学の心理学的意義と科学性—自分語りには陥らずに自分の趣味を科学的に研究するために— 日本パーソナリティ心理学会第32回大会自主シンポジウム
2021. 12. 18 岡田努 鉄道オタクの心理学 日本の若者とサブカルチャー 話題提供者: 菊池聡・岡田努, 指定討論者: 小林大祐・田邊浩, 司会: 荒木友希子, 日本認定心理士会講演会
2021. 9. 26 岡田努 鉄道オタクへの偏見と現実 企画者・司会者 山岡重之, 話題提供者 杉浦義典・岡田努・岡田有司・菊池聡, 指定討論者 渡邊芳之 サブカルチャー心理学のこれまでとこれから 日本パーソナリティ心理学会第30回自主シンポジウム
2021. 3. 29 岡田努「現代青年の保守化傾向と対人関係: 日米比較データから」 自己心理学の現在—不確定性の時代を生きる自己の諸相— 日本発達

心理学会第32回大会 ラウンドテーブル[29AM1-1E-RT2] 企画者 小林亮・榎本博明, 話題提供者 岡田努・田中道弘・小林亮 日本発達心理学会第32回大会 発表論文集69.

2019. 9. 12 サブカルチャーの心理学 (2) —オタクの幸福感— 日本心理学会第83回大会 [SS-062] 公募シンポジウム62 企画者: サブカルチャー心理学会, 指定討論者・司会者: 家島 明彦, 岡田 有司 話題提供者: 山岡 重行, 岡田 努, 杉浦 義典, 菊池 聡

2018. 12. 8 人と人の関わりの心理学 岡田努「現代青年の対人関係の問題」, 前川浩子「対人関係と精神的健康—誰との, どのようなやりとりが重要なのか?—」北陸心理学会第53回大会 講演会

2018. 9. 27 サブカルチャーの心理学 (1) —オタクのダイバーシティとスペクトラム— 企画代表者, 指定討論者, 司会者: 家島 明彦 (大阪大学) 企画者, 指定討論者: 岡田 有司 (東北大学) 企画者, 話題提供者: 山岡 重行 (聖徳大学), 話題提供者: 岡田努 (金沢大学), 菊池聡 (信州大学) 日本心理学会第82回大会

2018. 9. 17 現代青年の対人関係—その神話と現実—日本教育心理学会第60回総会・自主企画シンポジウム 司会: 白井利明 (大阪教育大学) 企画: 岡田努 (金沢大学) 話題提供者: 大谷宗啓 (滋賀大学)・萩原建次郎 (駒澤大学)・岡田努 (金沢大学) 指定討論者: 松井豊 (筑波大学) 発表論文集 p96-97.

2017. 11. 26 現代青年の日常の活動に対する評価: 研究委員会共同調査の結果に基づく検討 企画: 日本青年心理学会研究委員会, 司会: 高坂康雅 (和光大学), 話題提供: 山口昌澄 (高田短期大学), 五十嵐敦 (福島大学), 指定討論: 峰尾菜生子 (中央大学大学院), 岡田努 (金沢大学) 日本青年心理学会第25回大会研究委員会企画シンポジウム 岐阜聖徳学園大学

2017. 3. 27 「アイデンティティ」の魅力を再考する (その3): 幼児期の自己の発達とアイデンティティ企画: 谷冬彦 (神戸大学大学院)・宮下一博 (千葉大学大学院)・大倉得史 (京都大学大学院) 司会: 宮下一博 話題提供: 谷冬彦・稲垣実果 (京都聖母女学院短期大学)・中谷陽輔 (同志社大学), 指定討論: 岡田 努 (金沢大学)・上地雄一郎 (岡山大学大学院) 日本発達心理学会第28回大会自主シンポジウムSS8-2 発表論文集88-89.

2017. 3. 25 ともだち再考: 定義、発達、意味に着目して 企画・話題提供: 保坂裕子 (兵庫県立大学) 企画・司会・話題提供: 家島明彦 (大阪大学) 話題提供: 本田周二 (大妻女子大学) 指定討論: 岡田 努 (金沢大学) 日本発達心理学会第28回大会 ラウンドテーブルRT2-5 発表論文集101.

2016. 11. 26. 現代青年像と青年心理学 日本青年心理学会第24回大会ラウンドテーブル 青年期研究2.0 —問題意識と研究デザインのブレーク・スルーとは— 話題提供者: 岡田努 (金沢大学)・河野荘子 (名古屋大学)・平石賢二 (名古屋大学) 司会: 若松養亮 (滋賀大学) 論文集18-19.

2016. 10. 9 現代青年は本当におとなしくなったのか 日本教育心理学会第58回総会自主企画シンポジウムJF02 話題提供者 岡田努 (金沢大学・企画・司会), 原田克巳 (金沢大学)・高坂康雅 (和光大学)・萩原建次郎 (駒澤大学) 総会発表論文集92-93.

企画者: 佐藤有耕 (筑波大学) 話題提供者: 赤澤淳子 (福山大学)・古村健太郎 (筑波大学)・高坂康雅 (和光大学) 指定討論者: 岡田努 (金沢大学) 発

表論文集45-46.

2016. 4. 29 「親密な関係から抜け出せない人々：青年期の恋愛関係を中心に」日本発達心理学会第27回大会 自主シンポジウム SS2-1.

2015. 8. 26 Rosenbergの自尊感情尺度 日本教育心理学会第57回総会 自主企画シンポジウム JA04 企画・司会：小塩真司（早稲田大学），話題提供：茂垣まどか（立教大学），岡田涼（香川大学），並河努（新潟大学），指定討論：中間玲子（兵庫教育大学），岡田努（金沢大学）発表論文集28-29.

2014. 11. 9 日本教育心理学会第56回総会 自主企画シンポジウムJH02 青年期の食一写真法から見える日常一企画・話題提供：外山紀子（早稲田大学）・長谷川智子（大正大学），司会：中島伸子（新潟大学），話題提供：佐藤康一郎（専修大学），指定討論：岡田努（金沢大学），今田純雄（広島修道大学）発表論文集 138-139.

2014. 10. 5 現代青年における友人・異性との関係はどのようなものか：行動の背後にある動機に着目して 日本パーソナリティ心理学会第23回大会 経常的交流委員会企画シンポジウムA 企画者：日本パーソナリティ心理学会経常的交流委員会，司会者 畑野快（日本学術振興会/京都大学）・中谷陽輔（同志社大学），話題提供者：石本雄真（立命館大学）・本田周二（島根大学）・谷口純一（帝塚山大学），指定討論者 岡田努 発表論文集 10-11.

2014. 3. 21 思春期・青年期の友人グループのメカニズム—青年心理学の新展開（3）— 日本発達心理学会第25回大会 京都大学 会員企画自主シンポジウム SS1-2 企画・司会・話題提供者：高坂 康雅（和光大学）話題提供者：高坂 康雅（和光大学）・須藤春佳（神戸女学院大学）・山崎茜（広島大学大学院）指定討論者：岡田努（金沢大学）「スクールカーストの青年心理学」

2013. 9. 19 自己愛と無意識過程—精神分析学とパーソナリティ・社会心理学の接点— 日本心理学会第77回大会 公募シンポジウム 企画代表者：小塩真司（早稲田大学）。企画者：川崎直樹（北翔大学），話題提供者：川崎直樹・森尾博昭（関西大学）・岡田努（金沢大学）・清水健司（信州大学），指定討論者：富樫公一（甲南大学・栄橋心理相談室）・小塩真司，司会者：小塩真司（「質問紙調査における自己愛の無意識過程」）

2012. 9. 13 日本心理学会第76回大会ワークショップ(WS132) 自己愛研究の最前線（5）—これからの「自己愛」の話— 企画者：川崎 直樹（北翔大学）・小塩真司（早稲田大学）司会者：清水健司（信州大学）話題提供者：阿部 晋吾（梅花女子大学）・岡田努（金沢大学）・寺島瞳（筑波大学）・中西誠（関西大学）・中山留美子（三重大学）・市村美帆（東洋大学）・清水健司（信州大学）・小塩真司（早稲田大学）発表論文集WS(66).

2012. 9. 11 日本心理学会第76回大会ワークショップ(WS034) 現代青年の成熟とは何か 企画者・司会者：岡田努，話題提供者：岡田努(金沢大学)・萩原建次郎(駒澤大学)・溝上慎一(京都大学) 指定討論者：下斗米淳(専修大学) 大会発表論文集WS(17).

2011. 9. 16 自己愛研究の最前線(4)：自己愛的パーソナリティと日常行動 日本心理学会第75回大会 9. 15-17(日本大学)ワークショップ(WS086) 企画者：小塩真司・川崎直樹，司会者：清水健司，話題提供者：中山留美子・寺島瞳・阿部晋吾・岡田努・小塩真司 発表論文集WS(43).

2010. 9. 20 現代青年の友人関係と自己愛:対人恐怖を介して見えてくる混沌  
日本心理学会第74回大会 9. 20-22(大阪大学) ワークショップ(WS013)「  
自己愛研究の最前線(3):対人関係における自己愛の諸相」企画者:小塩真  
司・川崎直樹, 司会:清水健司, 話題提供者:中山留美子・寺島瞳・阿部晋  
吾・岡田努 指定討論:小塩真司 発表論文集WS(7). 2011. 9. 15「大学生の  
友人関係とキャリア発達」日本心理学会第75回大会 9. 15-17(日本大学)ワ  
ークショップ(WS001)企画者・司会者:岡田努, 話題提供者:岡田努・榎本  
博明・下村英雄・山浦一保 発表論文集WS(1).
2010. 8. 29 日本教育心理学会第52回総会 研究委員会企画シンポジウム3「子  
どもや青年に寄り添うことと指導することー実践と理論からの学びー」企  
画・司会:下斗米 淳・話題提供:伊藤美奈子・萩原健次郎・弓削 洋子,  
指定討論:岡田 努 発表論文集 90-91. 教育心理学年報第50集, 39-43に抄  
録
2008. 10 現代若者考:実践と実証のコラボレーション 日本教育心理学会第50  
回総会自主シンポジウムC4 企画:岡田努 話題提供者 萩原健次郎・伊藤美  
奈子・岡田努 指定討論者 下斗米淳 発表論文集 S62-S63.
2008. 9 自己心理学の方法と現状 日本心理学会第72回大会ワークショップ  
企画者(企画者 榎本博明・岡田努・下斗米淳・梶原佳子 司会者 並川  
努 話題提供者 古澤照幸・榎本博明・梶原佳子 指定討論者 サトウタツ  
ヤ) 発表論文集 WS(6).
2007. 9. 15 自己心理学の現状と課題 日本教育心理学会第49回総会自主シン  
ポジウムA3 話題提供者(企画 榎本博明 司会:梶原 佳子 話題提供:榎  
本博明・岡田努・下斗米淳 指定討論:野口裕之) 発表論文集 S28-29.
2007. 9. 19 青少年のキャリア意識形成と自己意識の発達促進に関する基礎  
研究(2) 実証データに基づく報告 日本心理学会第71回大会ワークショップ  
企画・司会・話題提供者(話題提供 榎本博明・岡田努・下村英雄・山浦  
一保) 発表論文集 W27.
2006. 11. 4 青少年のキャリア意識形成と自己意識の発達促進に関する基礎研  
究 日本心理学会第70回大会ワークショップ 企画・司会・話題提供者(話  
題提供 榎本博明・下村英雄・山浦一保・岡田努) 発表論文集 W29.
2005. 9. 11 自己心理学の展開(8)ーアイデンティティの発達をめぐって 日  
本心理学会第69回大会ワークショップ 話題提供者(企画:日本心理学会自  
己心理学研究会 司会:宮崎貴子, 話題提供:岡田努・松田信樹・榎本博明,  
指定討論:杉村和美・大野久) 発表論文集 W23.
2005. 3. 29 青年期研究の最前線ーさまよえる青少年の心ー 日本発達心理  
学会第16回大会大会準備委員会企画シンポジウム 話題提供者(企画・司会  
谷冬彦, 話題提供者 岡田努・相澤直樹・山口昌澄・谷冬彦, 指定討論者  
佐藤浩一) 発表論文集 112.
2005. 3. 27 自己心理学の展開(7) 「心の発達における自己のさまざまな機  
能」 日本発達心理学会第16回大会会員企画シンポジウム 指定討論者(企  
画者:榎本博明 話題提供者 山口昌澄, 宮崎貴子, 伊田勝憲, 志村ゆず  
指定討論者:榎本博明・岡田努) 発表論文集 148.
2004. 10. 11 青年期研究の応用可能性を考える 日本教育心理学会第46回総会  
自主シンポジウム33 話題提供者(榎本博明・長峰伸治・岡田 努) 発  
表論文集 S82-S83.

2004. 10. 9 健康教育における国内外の取り組みから生涯発達を考える」 日本教育心理学会第46回総会 自主シンポジウム6 指定討論者 (企画者・司会者: 矢野宏光 話題提供者: 榎本博明・塩崎万里・矢野宏光 指定討論者: 岡田 努) 発表論文集 S28-S29.
2004. 9 自己心理学の展開(6)「対人関係と自己形成」 日本心理学会第68回大会ワークショップ (WS66) 指定討論者 (司会: 小林亮, 話題提供: 小野寺敦子・下斗米淳・榎本博明, 指定討論: 藤永保・岡田努) 発表論文集 W33.
2003. 9. 15 日本人の情緒性は変容しているか?: 心理学研究データにみる現代日本人 青年の感情反応の特徴 日本心理学会第67回大会ワークショップ (WS94) 話題提供者 (企画者 佐藤香 話題提供者 有光興記 佐藤香 岡田 努) 発表論文集 S81.
2003. 9. 13 自己心理学の展開(5) 児童期・青年期における自己の発達 日本心理学会第67回大会ワークショップ (WS25) 指定討論者 (企画: 林洋一・横井優子, 話題提供: 眞榮城和美・梶原佳子・小野寺敦子・越川房子・指定討論: 岡田努・林洋一) 発表論文集 S44.
2003. 9. 13 「物語る自己について」 日本心理学会第67回大会ワークショップ (WS07) 指定討論者 (企画: 榎本博明・やまだようこ, 話題提供: 榎本博明・松本学・谷冬彦・やまだようこ, 指定討論: 小嶋秀夫・岡田 努) 論文集 S34.
2003. 8. 23 青年期研究の最前線 日本教育心理学会第45回総会自主シンポジウム8 企画者・司会・話題提供 (企画者・司会者 岡田 努 話題提供者 岡田努・榎本博明・谷冬彦) 発表論文集 S34.
2003. 3. 26 日本発達心理学会第14回大会 シンポジウム「自己心理学の展開(4) 自己の発達と対人関係」 (司会: 林 洋一 話題提供者: 臼井博・下斗米淳・菅原健介・榎本博明 指定討論者: 藤永保・岡田努・高木秀明) 発表論文集 S24. 神戸国際会議場
2002. 10. 13 現代の若者の社会化をめぐる 日本教育心理学会第44回総会自主シンポジウム20 企画・司会 話題提供者 (話題提供者: 岡田努・下斗米淳・上瀬由美子・安達智子) S56-S57.
2002. 10. 11 自己心理学の展開(3) パーソナリティの諸概念をめぐる 日本性格心理学会第11回大会シンポジウム(1) 指定討論者 (林洋一, 小塩真司, 中島千加子, 小林 亮, 横井優子, 榎本博明, 岡田 努) 発表論文集 18-19.
2002. 9. 27 自己心理学の展開 (2) -発達心理学における自己研究- 共同発表 話題提供者 (小林亮・松田信樹・榎本博明・岡田努・飯野晴海・下斗米淳) 日本心理学会第66回大会ワークショップ WS57.
2002. 8. 23 思春期における問題行動 共同発表 第21回日本思春期学会シンポジウム2 シンポジスト (近藤直司・市村多加子・岡田努・大川匡子) 「現代青年の対人関係」第21回日本思春期学会総会学術集会抄録集 45, 思春期学 21, 16-20.
2000. 11 青年期研究の理想と現実 日本心理学会第64回大会ワークショップ 企画・司会・話題提供者 (岡田努・谷冬彦・風間文昭・下斗米淳) 発表論文集 S44.
1999. 10. 11 自己の再構成 日本青年心理学会第7回大会テーマセッション 話題提供者 (岡田努・下斗米淳・谷冬彦) 発表論文集 8-10.

1998. 7. 18 アイデンティティ研究の方法論的検討:それぞれの研究法の有効性と限界 日本教育心理学会第40回総会自主シンポジウム 話題提供者 (宮下一博・岡田努・大野久) 発表論文集 S32-33.
1994. 9. 30 青年期の心理をどう講義するか 企画・司会:大野久話題提供:大野久・西平直喜・岡田努(「教育心理学科の専門科目としての青年心理学」)・平石賢二, 日本教育心理学会第36回総会自主シンポジウム19 論文集64.
1993. 11. 28 青年心理学は意味ある研究をしているのか 日本青年心理学会第1回大会シンポジウム シンポジスト(山野晃・長野精二・中野喜夫・古屋健治・岡田努) 発表論文集 22.
1992. 9 現代青年の友人関係と人格的自立 日本心理学会第56回大会ワークショップ 話題提供者(岡田努・高垣忠一郎・白井利明・西坂友秀・菅原健介) 大会発表論文集36.
1992. 3. 28 現代青年の特質 日本発達心理学会第3回大会 ラウンドテーブルB6 話題提供者(岡田努・平石賢二・大野久・西平直喜) 発表論文集 31.

---

## 研究補助金取得状況 科研費

### 代表

- ・2017-2021 現代青年の社会的脆弱性の構造の解明(平成29-33年度科学研究費補助金 基盤(C)一般 課題番号 17K04345) 研究代表者
- ・2012-2016 現代青年の友人関係における心理的脆弱性と社会適応の関連に関する研究(平成24-28年度科学研究費補助金 基盤(C)一般 課題番号24530811) 研究代表者
- ・2008-2012 現代青年の友人関係・自己のありかたと社会適応に関する研究(平成20-24年度科学研究費補助金 基盤(C) 課題番号20530589 研究代表者(課題番号24530811へ継続のため, 2011年度までの支給)
- ・2009 科学研究費補助金 研究成果公開促進費(学術図書) 課題番号215160 「青年期の友人関係と自己」
- ・2001-2004 青年期危機が人格的発達に及ぼす効果に関する研究(平成13-16年度 科学研究費補助金 基盤C-2 一般 課題番号 13610123) 単独
- ・1997-1998 現代青年における対人関係希薄化と人格障害傾向の関連について(平成9, 10年度科学研究費補助金 奨励研究(A) 課題番号09710082) 単独
- ・1994 青年期における「ふれあい恐怖」の精神病理と心理的構造について

(平成6年度科学研究費補助金 奨励研究(A) 課題番号06851018) 単独

### 分担研究者

- ・2021.4.1-2025.3.31 日米若年世代の価値意識の変動を解明する計量社会学研究 (基盤研究(B) 課題番号21H00768) 研究分担者 (研究代表者: 轟亮)
- ・2016.4.1-2019.3.31 計量社会学的方法による若年層の価値と規範に関する国際比較研究 (基盤研究(B)一般 課題番号 16H03689) 研究分担者 (研究代表者: 轟亮)

### 科研費以外

- ・2015.4.1-2015.9.30 グローバル時代における若年性代の価値に関する人間科学 先魁プロジェクト【予備研究】(FS)異分野融合型分担 (研究代表者: 轟亮)
- ・2016-2017 グローバル時代における若年世代の価値と規範に関する人間科学 先魁プロジェクト 【本格研究】(FR)異分野融合型分担 (研究代表者: 轟亮)
- ・2007.4 現代青年の友人関係・自己のありかたが自己の発達と適応に及ぼす影響に関する研究 金沢大学平成19年度学長戦略経費 (重点研究経費) 一般推進研究 研究代表者
- ・2006.10-2007.9 青少年のキャリア意識形成と自己意識の発達促進に関する基礎研究 第37回 (平成18年度) 三菱財団社会福祉事業・研究助成 (榎本博明・山浦一保・下村英雄と共同) 研究代表者
- ・1999 現代青年の対人希薄化と自己の発達に関する研究 1999年度立教大学研究奨励助成金

---

### 学会及び社会における活動等

#### ○所属学会

日本心理学会 日本教育心理学会 日本社会心理学会 日本発達心理学会  
日本パーソナリティ心理学会 日本青年心理学会 思春期・青年期精神医学  
会 北陸心理学会

#### ○学会での活動・委員・役職等

2024年1月1日～2026年3月31日 日本教育心理学会「教育心理学研究」編集  
委員

2023年9月9日-2023年9月10日 日本パーソナリティ心理学会第32回大会委員  
長

2018年8月26日～現在 日本パーソナリティ心理学会理事  
2012年4月1日～現在 北陸心理学会理事  
2019年4月1日～2022年3月31日 北陸心理学会会長  
2016年4月1日～2019年3月31日, 2022年4月1日～現在 北陸心理学会理事  
2018年4月1日～2019年3月31日 日本教育心理学会城戸奨励賞選考委員会委員  
2014年10月4～2016年9月14 日本パーソナリティ心理学会「パーソナリティ研究」編集副委員長  
2010年10月10～2014年10月3 日本パーソナリティ心理学会「パーソナリティ研究」常任編集委員  
2010年8月1～2012年11月30 日本教育心理学会 理事  
2009年11月28～2018年8月25 日本パーソナリティ心理学会 監事  
2007年7月～2025年3月 日本心理学会 代議員 (地域別 中部)  
2008年11月15～2010年10月9 日本パーソナリティ心理学会「パーソナリティ研究」編集委員  
2008年1月～2010年12月 日本教育心理学会「教育心理学研究」編集委員  
2006年1月～2007年12月 日本発達心理学会「発達心理学研究」編集委員  
2002年11月2日 日本発達心理学会北陸地区シンポジウム 企画・運営・司会 共催:金沢大学 文学部・教育学部心理学系研究室 現代の若者にとっての「自分」と「他人」—自己と対人関係の発達心理学— 「教育との関係及び総括的な観点から」(金子劭榮), 「自己の発達心理学」(榎本博明), 「対人関係の社会心理学」(下斗米淳)  
2002年1月8日～2003年12月31日 日本発達心理学会企画委員  
2001年9月22～2005年11月12 日本性格心理学会/日本パーソナリティ心理学会 「性格心理学研究」「パーソナリティ研究」常任編集委員  
2000年9月23～2001年9月21 日本性格心理学会 「性格心理学研究」編集委員  
1999年10月10～11日 日本青年心理学会第7回大会準備委員  
1996年5月1～1998年3月31 日本発達心理学会「発達心理学研究」編集委員  
1990年6月1日～3日 日本心理学会第54回大会準備委員 (東京都立大学)  
1988年7月31日～8月2日 日本心理臨床学会第7回大会準備委員 (東京都立大学)

#### ○公的機関等の委員・貢献等

2013年12月1日～2017年11月30日 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員 (審査第一部会海外学術調査社会科学系小委員会)  
2005年4月～2007年3月 石川県 豊かな心をはぐくむ教育推進県民会議「子どもの心に関する調査特別委員会」委員  
2003年8月 放送大学 2004年度放送用教材制作協力 (人格心理学 第5回「親子関係とパーソナリティの発達」, 第6回「友人関係とパーソナリティの発達」講師)  
2001年8月27日～2001年11月 男女共同参画状況調査に係る実行委員会委員 (財)いしかわ女性基金事務局・石川県女性青少年課男女共同参画推進室  
2001年6月～2013年3月31日 石川県精神保健福祉協会 理事  
1999年5月～2000年3月 総務庁青少年対策本部 企画分析委員 (「低年齢少

年の価値観等に関する調査」)

1994年 新潟市教育委員会「子どもの遊びに関する実態調査」調査設計指導

)

### 共同研究

2018.4.1-2021.3.31 トヨタ紡織株式会社包括連携共同研究 研究題目「次世代車室空間の創出」課題「車室空間における快適性に関する研究」(研究代表者 小島治幸)共同研究者

2004年12月~2007年3月 日本学術振興会 人文・社会科学振興プロジェクト研究事業「グローバル化時代における市民性の教育」(研究代表者 佐藤学)研究協力者

### ○講演等

2023.11.4 若者像神話：データから見る現代日本の若者像 2023年度 読売新聞社連携 金沢大学公開市民講座 新しい働き方とZ世代教育ー未来を切り拓くためのカー

2023年6月6日 富山県総合教育センター令和5年度研修「生徒指導セミナー」研修会講師「対人関係の特徴の理解」

2023年3月11日 青年期にある学生の間関係の特性について~保健師教育における指導の在り方を考える~保健師養成のための実習指導者研修会(石川県看護協会) オンライン

2017年7月29日 日本心理学会 2017年度 高校生のための心理学講座 中部地区II 人格・発達心理学「若者の心と対人関係」金沢大学サテライトプラザ

2016年7月31日 日本心理学会 2016年度 高校生のための心理学講座 中部地区II 人格・発達心理学「若者の心と対人関係」金沢大学サテライトプラザ

2015年8月1日 日本心理学会 2015年度 高校生のための心理学講座 中部地区II 人格・発達心理学「若者の心と対人関係」ITビジネスプラザ武蔵

2014年9月5日 金沢家庭裁判所研修会講師「現代の若者の対人行動」

2014年8月2日 日本心理学会 2014年度 高校生のための心理学講座 中部地区II 人格・発達心理学「若者の心と対人関係 友だち, 恋愛」金沢大学サテライトプラザ

2013年10月19日 日本女子大学心理学科の会 講演会「現代青年は傷つきやすいのか：ふれ合い恐怖・ランチメイト症候群との関係」

2013年8月6日 平成25年度 金沢大学教員免許状更新講習「現代社会における心・宗教・民族の問題」(若者の心の問題について)

2013年8月3日 日本心理学会 2013年度 高校生のための心理学講座 中部地区II 人格・発達心理学「若者の心と対人関係 友だち, 恋愛」金沢大学サテライトプラザ

2010年12月10日 金沢大学創基150年記念金沢念「講演会・シンポジウム」シリーズ第21回 人文学類シンポジウム第3回 パーソナリティ心理学からのアプローチ：現代の若者：傷つけられることを恐れる心 司会・松川順子 話

題提供 松田崇志・國見充展・松本圭・上野糧正・岡田努・小島治幸・谷内通

2010年2月14日 平成21年度石川県精神保健福祉協会研究会シンポジウム「現代の若者を取りまく心の諸問題」（「現代の青年の対人関係」担当）

2009年12月13日 第1回合同CSD研修会講演会「現代若者気質」（福岡大学）  
平成21年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想

2008年2月3日 「現代青年の対人関係」全国引きこもりKHJ親の会石川県支部講演会

2005年12月7日 富山工業高等専門学校講演会 現代の青少年の心理的特徴に即した学生への対応のあり方について：現代の若者の対人関係の心理

2005年2月26日 平成16年度石川県精神保健福祉研究会講師 「青少年による重大事件発生の実状と心理」 司会：小山善子，シンポジスト：高橋良介・田中義一・浦田早知・岡田努・棟居俊夫

2005年2月18日 鯖江市地域子ども教室講演会「現代青少年の対人関係と意識について」

司会・進行：氏家靖浩（福井大学教育学部） 講師：吉見昌弘（富山大学教育学部），市田路子（富山医科薬科大学医学部），岡田努（金沢大学文学部）

2004年11月23日 北陸6大学連携まちなかセミナー「北陸発の教育：まったくいまどきのコドモは・・・一当世「保育」「子ども」「青年」事情一」

2002年8月8日 石川県私立幼稚園協会 研修委員会「幼稚園の基礎講座」講師 「現代の若者は本当に未熟なのか 現代青年の対人関係と自己概念の特質

2001年2月10日 平成12年度 新潟大学教育人間科学部 フレンドシップ事業 公開シンポジウム 青少年の逸脱行動にかかわる要因について

2000年3月16日 「青少年の社会適応能力」総務庁青少年対策本部 青少年問題調査研究会 講師

1996年6月 平成8年度 児童期家庭教育学級 講師 新潟市中央公民館

1995年10月 平成7年度 思春期の家庭教育講座 講師 新潟市中央公民館

#### 教職関係の講師等

2013年8月6日 教員免許状更新講習講師「現代社会における心・宗教・民族の問題」金沢大学

1992-1994年 教員免許法認定講習講師「教育心理学」 新潟市教育委員会

#### 研究成果の掲載・放送

2023.12.6 2023年度 金沢大学公開市民講座 新しい働き方とZ世代教育—未来を切り拓くための力— 読売新聞石川版

2022.5.4- 金子書房note 自己と他者と傷つき—自己と他者 異なる価値観への想像力—

<https://www.note.kanekoshobo.co.jp/n/n61190730222f>

東進ドットコム「高校生の悩み解決サイト 悩み相談Q&A」クラスのみん  
が騒いでいるなか、自分だけどこか冷めた目で見えてしまい、輪の中に入れ  
ません。自分もまざれる方法を知りたいです。（高2女子）[http://www.toshin.com/question\\_stop/questions/110](http://www.toshin.com/question_stop/questions/110)

2017.4.20 編集部インタビュー 「なぜ友達が必要なのか」電通育英会 IK  
UEI NEWS78 7-8

2013年11月28日 「なぜ凶悪化... ストーカー犯罪」MRO北陸放送放送「レ  
オスタ」

2009年8月10日 スーパーJチャンネル「成人年齢が下がったら」北陸朝日放  
送

---

### その他

2003年3月 日本発達心理学会北陸地区シンポジウム記録集「現代の若者にと  
っての自分と他人」 主催：日本発達心理学会企画委員会・金沢大学文学部  
・教育学部心理学系研究室（編集）

1989年3月 Rorschach Test Scoring Tool 心理検査採点ソフトウェアの開  
発（株）マイン

以上